

プロジェクション マッピング

～映像と舞台照明の融合～

近年、新たな表現方法の一つとして注目されているプロジェクションマッピング。建築物への投射だけでなく、コンサートやダンスなどでも舞台照明効果のひとつとして活用されはじめています。今後は、映像と舞台照明効果がプロジェクションマッピングのような技術により、ますます融合していくことが予測されます。

今回のセミナーは、舞台照明家、照明・映像・デジタルメディアなどを勉強する学生から興味のある方までを対象とした講義と実演を行います。参加の皆さんとともに映像と舞台照明が融合する未来を考えたいと思います。

『プロジェクションマッピング』とは、映像やコンピュータグラフィック等を、スクリーンのような平面ではなく、建築物のような立体的な構造物にプロジェクター等で投映する技術です。東京駅プロジェクションマッピングで一気に市民権を得ました。

講師 伏木 啓 名古屋学芸大学メディア造形学部 准教授

映像作家。ドイツ・バウハウス大学ワイマールMFA課程修了。
時間意識や記憶における線形性と非線形性の重なりを主題とした映像作品やインスタレーション/パフォーマンス作品を制作している。近年は、中川運河の水上を扱った映像インスタレーション「waltz」(2013～15年)などを発表している。
<http://media.nuas.ac.jp/visual/faculty/fushiki/>

齋藤洋史 株式会社タケナカ

映像/プロジェクションマッピング技術者。
リリと魔法のラビリンス(ラグーナ蒲郡・2012年)、小牧山城築城450年記念事業グランドフィナーレ「ライブ・プロジェクションマッピングショー」(2013年)などをプロデュース。
<http://www.takenaka-co.co.jp/> <http://beampainting.com/>

タイムテーブル(予定)

10:00	受付
10:20	開会/オリエンテーション
10:30	基調講演 伏木 啓 氏
12:00	休憩
13:30	プロジェクションマッピング講義/実演 齋藤洋史 氏
15:30	質疑応答/まとめ
16:00	終了

日 時 平成 28 年 **9月13日** (火) 10:20～16:00 (10:00 受付開始)

場 所 名古屋市芸術創造センター ホール
名古屋市東区葵一丁目3番27号 地下鉄東山線「新栄町」下車1番出口より北へ徒歩3分

参加費 無料

申込方法 ファックス又はメールにて、参加申込書をお送りください。
ファックス 052-931-7145 メール geiso@bunka758.or.jp
宛先(件名)を、「舞台照明技術ワークショップ係」とし、
本文に、①氏名 ②所属(学校名) ③年齢 ④連絡先(電話番号)を記載。

問 合 先 公益社団法人 日本照明家協会中部支部事務局 電話 052-741-0555
名古屋市芸術創造センター 電話 052-931-1811

主 催  公益社団法人 日本照明家協会 中部支部
 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [芸術創造センター]

